



週間情報



No.0542

発行日 令和5年11月14日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 03-3234-1321

両会の動き

◆ 第72回全国消防長会危険物委員会を開催

全国消防長会危険物委員会

令和5年10月25日（水）、山口県岩国市（岩国国際観光ホテル）において、第72回全国消防長会危険物委員会を開催しました。

会議の議案などは、次のとおりです。

【消防庁講話】

危険物行政の最近の動向について

【議案】

- 1 地下タンク貯蔵所から建築物の一部に設ける一般取扱所に危険物を移送するポンプ室の規制について
- 2 処分通知のデジタル化について
- 3 次期開催地について

【情報交換】

- 1 リチウムイオン蓄電池の保管について

【情報提供】

- 1 石油コンビナート行政のうごき
- 2 消防研究センターの体制と事業概要について
- 3 工事現場等における少量危険物の一時貯蔵等に係る特例基準について
- 4 危険物保安技術協会からの情報提供
- 5 一般財団法人全国危険物安全協会からの情報提供
- 6 危険物取扱者試験の現況と受験者増加対策への取り組み



【委員長あいさつの様子】



【委員会の様子】

◆ 令和5年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催

全国消防長会技術委員会

令和5年10月26日（木）、愛知県豊田市（ホテルトヨタキャッスル）において、令和5年度全国消防長会技術委員会第2回常任委員会を開催しました。

会議の議案などは、次のとおりです。

【議題】

- 1 消防・救急デジタル無線用音声コーデックについて
- 2 令和6年度第2回常任委員会の開催地について
- 3 第103回全国消防長会技術委員会の開催地について
- 4 第104回全国消防長会技術委員会の開催支部について

【情報交換】

- 1 事故自動通報システムにおいて応答が無い場合の出動隊の編成について

【報告事項】

- 1 2023年ISO/TC94/SC14国際会議の結果について

【情報提供】

- 1 地方分権改革を活用した消防水利の基準の緩和について
- 2 フォーラムエイト・ラリージャパン2023に向けた車両火災対策について
- 3 津波・大規模風水害対策車リフト装置の落下事故について



【常任委員会の様子】

◆ 令和5年度消防職員惨事ストレス研修会を実施

奈良県消防長会（奈良）

奈良県消防長会では、令和5年10月20日（金）、令和5年度消防職員惨事ストレス研修会を実施しました。

当日は、県下3消防本部から71人が参加し、一般財団法人地方公務員安全衛生推進協会のご支援のもと、筑波大学名誉教授・文学博士の松井豊氏と、武蔵野大学心理臨床センター精神保健福祉士の笹川真紀子氏を講師にお招きし、「消防職員の現場活動にかかる惨事ストレス対策」や「職場のメンタルヘルスケア」についてご講義いただきました。

今後も、各種研修会を継続し、消防行政が直面する諸課題を解決するため、必要な知識・技術の向上を図ってまいります。



【研修会の様子】

◆ 令和5年度長野県消防相互応援隊合同訓練を実施

長野県消防長会（長野）

長野県消防長会では、令和5年10月21日（土）、22日（日）の2日間、岳南広域消防本部の管内において、令和5年度長野県消防相互応援隊合同訓練を実施しました。

この訓練は、長野県総合防災訓練に併せて、「中野市で大規模な土砂災害が発生した。」との想定で、長野県消防相互応援協定による部隊参集訓練、宿営訓練、実動訓練を実施したものです。

当日は、県内13消防本部から車両55台、隊員187人が参加し、被災地想定消防本部は受援訓練を行い、県内の各応援部隊は進出拠点へ集結した後、各エリアに移動して救助活動と後方支援活動を実施しました。

宿営訓練では、デコンタミネーションの設営、共有スペースの設定などを行い、後方支援活動の検証を行いました。

今後も訓練を継続し、県内消防本部との連携強化を図り、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 令和5年度府内消防本部合同ロープレスキュー訓練を実施

京都府消防長会（京都）

京都府消防長会警防部会では、令和5年10月26日（木）、消防学校において、令和5年度府内消防本部合同ロープレスキュー訓練を実施しました。

この訓練は、ロープレスキュー技術のレベルアップと隊員間の連携強化を図ることを目的として実施したものです。

当日は、府内の消防本部から救助隊員が参加し、救助技術を共有した後、意見交換を実施しました。

今後も府内の消防本部で連携し、災害対応力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

◆ 佐賀県内合同消防訓練を実施

佐賀県消防長会（佐賀）

佐賀県消防長会では、令和5年10月29日（日）、唐津市の砂採取場において、県内の5消防本部と佐賀県防災航空隊が合同で、佐賀県内合同消防訓練を実施しました。

この訓練は、「佐賀県常備消防相互応援協定」と「佐賀県消防防災ヘリコプター支援協定」に基づき、連絡・情報共有体制を確認するとともに、連携強化を図ることを目的として、昨年度から図上訓練と実動訓練を交互に行っており、今年度は実動訓練を実施したものです。

当日は、15隊66人の隊員が参加し、「唐津市において大規模な土砂災害が発生し、複数の民家が巻き込まれ行方不明者が多数いる。」との想定で訓練を実施しました。

今後も訓練を継続し、災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

訓練

◆ 解体予定の建物を活用した警防特別訓練を実施

若狭消防組合消防本部(福井)

若狭消防組合消防本部では、令和5年10月17日(火)、18日(水)の2日間、解体予定の建物を活用した警防特別訓練を実施しました。

この訓練は、指揮命令系統の確立と、濃煙内での検索・放水技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、想定訓練を実施し、各部隊の連携活動を再確認したほか、訓練後に活動検討会を実施しました。

今後も訓練を継続し、安全で効果的な災害活動を実施してまいります。



【訓練の様子】

◆ 大型バスを活用した交通事故想定訓練を実施

宮崎市消防局(宮崎)

宮崎市消防局では、令和5年10月19日(木)、宮崎交通株式会社、一般社団法人九州レッカー事業協力会、宮崎大学医学部附属病院と合同で、大型バスを活用した交通事故想定訓練を実施しました。

当日は、「交差点内で大型バスと乗用車の交通事故が発生し、大型バスが横転して乗用車が下敷きとなった。」との想定で、同社の職員による119番通報により訓練を開始し、最先着した当消防局の部隊が現場の状況評価を実施して、横転した大型バスの安定化を行うためレッカー車を要請するとともに、多数傷病者の対応のためドクターカーを要請しました。

今後も、消防力向上のため、関係機関との連携強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 八女地区総合防災訓練を実施

八女消防本部（福岡）

八女消防本部では、令和5年10月22日（日）、八女市立花運動場において、警察、自衛隊、医療機関と合同で、豪雨や地震などの自然災害を想定した八女地区総合防災訓練を実施しました。

この防災訓練は、初の試みとして、メイン会場と2つのサブ会場（当市笠原体育館、当市矢部公民館）のほか、15の行政区でも同日・同時刻に実施したものです。

当日は、約1,200人が参加し、道路啓開活動、救助活動、災害医療（DMAT）活動、ライフラインの応急復旧など、防災関係機関が緊密に連携し、それぞれが担う活動を実施しました。

今後も訓練を継続し、関係機関と連携を強化するとともに、さらなる防災力の強化に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ トンネル事故対応合同訓練の実施

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部（石川）

羽咋郡市広域圏事務組合消防本部では、令和5年10月24日（火）、羽咋トンネルにおいて、警察、土木事務所と合同で、トンネル事故対応合同訓練を実施しました。

この訓練は、トンネル内で事故が発生した場合に備えるため、事故対応能力と関係機関との連携を強化することを目的として実施したものです。

当日は、「トンネル内での交通事故により、多数の傷病者が発生するとともに、事故車両から出火した。」との想定で、3機関が連携し、119番通報、交通規制、救急・救助活動、避難誘導活動、消火活動を実施しました。

今後も関係機関との連携を強化し、事故対応能力の向上に努めてまいります。



【あいさつの様子】



【訓練の様子】

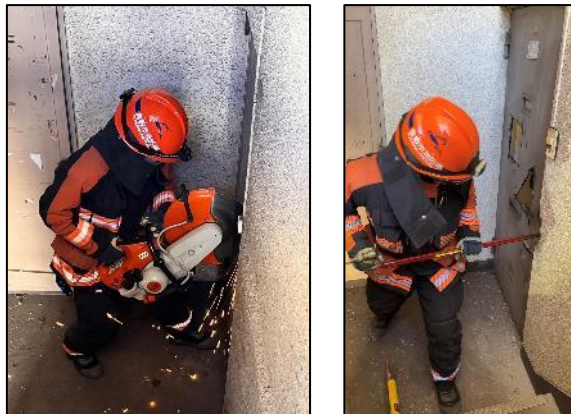
◆ 解体中の建物を活用したドア開放訓練を実施

倉敷市消防局（岡山）

倉敷市消防局では、令和5年10月23日（月）、24日（火）の2日間、解体中の建物を活用したドア開放訓練を実施しました。

当日は、当消防局の高度救助隊が各署の職員に、パール、ハリガンツールおよびエンジンカッターを活用したドア開放要領、エンジンカッターの保持姿勢、資機材の特性などについて指導しました。

ドア開放活動は人命に直結するため、災害現場のドアが、どんな形状・構造であっても、迅速・確実に開放活動できるよう、今後も実災害に近い環境で訓練を実施してまいります。



【訓練の様子】

◆ 合同水難救助訓練を実施

筑西広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

筑西広域市町村圏事務組合消防本部では、令和5年10月25日（水）、管内の室内プール（深度3メートル）において、小山市消防本部（栃木）と合同水難救助訓練を実施しました。

この訓練は、県境を越えた連携強化と顔の見える関係を構築し、各隊の水難技術の共有と士気の高揚を図ることを目的として実施したものです。

当日は、検索要領について共通認識を図った後、両消防本部の隊員が合同で、安全・確実な検索活動を実施しました。

今後も、水難救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 合同消防救助訓練を実施

今治市消防本部（愛媛）

今治市消防本部では、令和5年10月26日（木）、株式会社新来島どっく大西工場において、同社と合同消防救助訓練を実施しました。

この訓練は、特異性のある造船所での災害事案に対応するため、同社と連携を強化し、防災意識と災害対応力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、「ジブクレーンのオペレーター室付近（地面からの高さ約30メートル）において、急病人が発生した。」との想定で、同社の従業員が119番通報、応援要請、心肺蘇生を実施するとともに、現場に到着した消防隊がドローンを活用した情報収集、救助隊による斜めブリッジ救出、救急隊による救命処置を実施しました。

訓練に参加した従業員から、「災害発生時の手順を再認識できて良かった。」との声が聞かれました。

今後も、各機関と合同訓練を実施し、円滑な現場活動につなげてまいります。



【訓練の様子】

◆ 大分県防災航空隊と合同訓練を実施

大分市消防局（大分）

大分市消防局では、令和5年10月25日（水）、26日（木）の2日間、JX金属製錬株式会社大志生木球場と佐賀関ダムにおいて、大分県防災航空隊と合同訓練を実施しました。

この訓練は、管内における大規模な林野火災の発生に備えるため、同航空隊と連携を強化するとともに、当消防局職員の知識・技術の向上を図り、有効な火災防ぎょ体制の確立を図ることを目的として実施したものです。

両日で計26人の職員が参加し、ヘリコプターの消火バケットを活用した給散水訓練、ホイスト降下による隊員投入訓練を実施しました。

今後も、同航空隊と連携を強化するとともに、住民の安全・安心のため、各機関と訓練を実施してまいります。



【訓練の様子】

◆ 鉄道車両事故等対応訓練を実施

柏市消防局（千葉）

柏市消防局では、令和5年10月27日（金）、JR東日本松戸車両センターにおいて、鉄道車両事故等対応訓練を実施しました。

この訓練は、鉄道車両事故における活動能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、40人の職員が参加し、同センターの職員から鉄道車両のジャッキアップ時の注意点について説明を受けた後、救助資機材を活用した車両持ち上げ訓練を行ったほか、各種搬送資器材を活用した要救助者搬送訓練を実施しました。

今後も訓練を継続し、関係機関と連携して災害対応力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 警察機関と合同でBC災害対応訓練を実施

可茂消防事務組合消防本部（岐阜）

可茂消防事務組合消防本部では、令和5年10月30日（月）、管内の公共施設において、岐阜県警察本部と合同で、BC災害対応訓練を実施しました。

この訓練は、当消防本部の生物・化学（テロ）災害の活動要領に基づいた各隊の行動要領を再確認するとともに、関係機関との連携強化と共通認識を図ることを目的として実施したものです。

当日は、計91人が参加し、当消防本部が保有するドローンを活用した情報収集を実施した後、ゾーニング、剤の検知、暴露者の搬送・除染、救急処置までの一連の活動を実施しました。

今後も関係機関との連携強化を図り、さらなる災害対応能力の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】

◆ 3 消防本部で流水救助合同訓練を実施

郡上市消防本部（岐阜）

郡上市消防本部では、令和5年10月30日（月）、当市美並町の長良川において、四日市市消防本部（三重）と桑名市消防本部（三重）と合同で、流水救助合同訓練を実施しました。

この訓練は、急流での水難事故や洪水災害時における、水難救助技術の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、訓練を通じて消防本部間で情報を交換し、互いに刺激し合うことができました。

今後も訓練を継続し、救助技術の向上に努めてまいります。



【訓練の様子】



【訓練後の記念撮影】

研 修

◆ 消防職員ハラスメント予防研修を実施

太田市消防本部（群馬）

太田市消防本部では、令和5年10月16日（月）、17日（火）の2日間、消防職員ハラスメント予防研修を実施しました。

当日は、約110人が参加し、株式会社ハーモニックリエイション代表取締役の白石恵美子氏を講師にお招きし、「ハラスメントが起こらない仕組みを組織全体でつくること」や、「ご機嫌な職員を増やし・ご機嫌な職場をつくること」が、ハラスメントを未然に防ぐ重要な方法であるご講義いただきました。

今後、「ご機嫌」、「規律」、「愛」を合言葉に、職場環境の健全性確保と消防力の向上に努め、安全・安心な街づくりに努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 救急隊員総合研修を実施

つくば市消防本部（茨城）

つくば市消防本部では、令和5年10月18日（水）から20日（金）までの3日間、救急隊員総合研修を実施しました。

この研修は、メディカルコントロール協議会の指導医師や医療機器メーカーの担当者を講師にお招きし、救急現場に必要な知識・技術の習得と、隊員間の連携強化を図ることを目的として実施したもので、救急指定隊員90人が参加し、シミュレーション訓練に対する医学的アドバイスと現場で役立つ心電図の見方についてご講義いただきました。

また、茨城県警察本部の元職員を講師にお招きし、救急隊員の身を守る護身術についてもご指導いただきました。

今後も同研修を継続し、住民の安全・安心に努めてまいります。



【研修の様子】

◆ 違反是正の推進に係る実務研修を実施

湖南広域消防局（滋賀）

湖南広域消防局では、令和5年10月16日（月）から20日（金）までの5日間、近隣消防本部から11人の研修生を受け入れ、違反是正の推進に係る実務研修を実施しました。

この研修は、各消防本部で消防法令の違反是正に従事する職員を養成し、迅速・適正な是正につなげることを目的として毎年実施しているものです。

期間中は、違反是正に関する座学を行ったほか、各種実技シミュレーションを実施しました。今後も研修を継続し、知識の向上に努めてまいります。



【研修の様子】



【研修後の記念撮影】

◆ 安全運転研修を実施

長野市消防局（長野）

長野市消防局では、令和5年10月16日（月）、23日（月）の2日間、市内の自動車学校において、救急車と大型教習車両を活用した安全運転研修を実施しました。

当日は、24人の職員が参加し、同自動車学校の職員を講師として、「接触を恐れず、ギリギリまで攻めて車両感覚を身に付けよう」をコンセプトに、スピードが出ている中での危険回避訓練、スラローム訓練、急制動訓練を実施したほか、大型教習車両での方向転換訓練を行い、走行ラインや障害物との間隔について確認しました。

今後も、習得した知識、運転技術、車両感覚をさらに向上させ、安全・迅速な緊急走行を行ってまいります。



【研修の様子】

◆ 消防実務研修会を実施

静岡県東部消防長会（静岡）

静岡県東部消防長会では、令和5年10月24日（火）、静岡県東部地区の7消防本部（下田消防本部、駿東伊豆消防本部、熱海市消防本部、富士山南東消防本部、御殿場市・小山町広域行政組合消防本部、富士市消防本部、富士宮市消防本部）による、消防実務研修会を実施しました。

この研修会は、災害現場や窓口業務において、適切な接遇が必要不可欠であることから、接遇マナーやコミュニケーション能力の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、計60人が参加し、株式会社接遇コミュニケーション代表取締役の能勢みゆき氏を講師にお招きし、「消防業務における接遇コミュニケーション」と題して、対話相手と信頼関係を築くために必要なマナーや、住民対応時の心構え・表現方法について事例や演習を交えてご講義いただきました。



【研修会の様子】

◆ 静岡県西部地区の消防本部と合同で予防関係研修会を実施

磐田市消防本部（静岡）

磐田市消防本部では、令和5年10月24日（火）、静岡県西部地区の6消防本部（浜松市消防局、湖西市消防本部、袋井市森町広域行政組合袋井消防本部、掛川市消防本部、菊川市消防本部、御前崎市消防本部）と合同で、予防関係研修会を実施しました。

この研修会は、静岡県西部地区の各消防本部が予防に関する知識の向上を図ることを目的として実施したものです。

当日は、会場研修とオンライン研修に計132人が参加し、Gcomホールディングス株式会社執行役員で当市CDO（最高デジタル責任者）補佐官の小出篤氏を講師にお招きして、「消防におけるDXの進め方・ヒント」と題してご講義いただきました。

この研修会により、今後、消防が、デジタル化することで、どのようなツールを活用して効率化を図っていくかなどについて課題が見えました。

今後も、時代の流れに遅れない市民サービスに取り組み、住民の安全・安心につなげてまいります。



【研修会の様子】

◆ 埼玉県消防長会第1ブロック消防長会が合同で消防職員研修会を実施

川口市消防局（埼玉）

川口市消防局では、令和5年10月25日（水）、さいたま市消防局、蕨市消防本部、上尾市消防本部、戸田市消防本部、埼玉県央広域消防本部と合同で、消防職員研修会を実施しました。

この研修会は、同ブロック内の消防本部の幹部職員を対象に毎年実施しているものです。

当日は、100人以上が参加し、元東京消防庁防災部長などを歴任された関政彦氏を講師にお招きし、「消防実務管理」と題して、上司の責務や心構え、部下の育成などについてご講義いただき、今後の組織づくりにつながる有意義な研修会となりました。

今後も、組織運営・人材育成の一助となるための研修会を継続してまいります。



【研修会の様子】

◆ L Pガスに関する研修を実施

浜松市消防局（静岡）

浜松市消防局では、令和5年10月25日（水）、令和5年度高圧ガス保安活動促進週間とLPガス消費者保安月間に伴い、サーラエナジー株式会社浜松支社のご協力のもと、LPガスに関する研修を実施しました。

当日は、同社の職員からLPガスと容器の基礎知識についてご講義いただいた後、容器と調整器の離脱方法や容器の運搬方法についてご指導いただき、現場活動に有益な知識・技術の向上を図ることができました。

今後も、消防業務における知識・技術の向上に努めるとともに、ガスの保安に取り組んでまいります。



【研修の様子】

◆ 女性消防吏員活躍推進研修会を実施

京丹後市消防本部（京都）

京丹後市消防本部では、令和5年10月25日（水）、女性消防吏員活躍推進研修会を実施しました。

当日は、当消防本部の職員と京丹後市の職員が参加し、総務省消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザーの塩田敦美氏（倉敷市消防局児島消防署消防係消防二係係長）を講師にお招きし、「女性消防吏員のさらなる活躍のために」と題して、女性消防職員の増員に向けた職員採用試験の改革、女性が職場で働く意義や職域拡大、育児休業における体験談やワーク・ライフバランスについてご講演いただきました。

本研修会は、当消防本部では初めて実施し、多くのことを学ぶ良い機会となりました。

今後も、本研修会で得た知識を生かし、女性消防吏員活躍推進に向け、働きやすい職場環境の実現に努めてまいります。



【研修会の様子】

◆ ハラスメント防止に関する研修会を実施

徳島中央広域連合消防本部（徳島）

徳島中央広域連合消防本部では、令和5年10月25日（水）、ハラスメント防止に関する研修会を実施しました。

当消防本部の女性消防職員は、令和2年に初めて採用され、現在2人が活躍しており、本年4月1日現在では、消防職員全体に占める女性の割合が約1.6%となっています。

当日は、総務省消防庁女性消防吏員活躍推進アドバイザーの松田由香里氏（和歌山市消防局）を講師にお招きし、ハラスメント防止についてご講義いただきました。

今後も、女性消防職員の活躍を推進し、住民サービスの向上に努めてまいります。



【研修会の様子】

その他

◆ 消防功労者に感謝状を贈呈

置賜広域行政事務組合消防本部（山形）

置賜広域行政事務組合消防本部では、令和5年10月20日（金）、管内で発生した2事案の消防功労者4人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

1事案目は、令和5年9月2日（土）、住宅の敷地内で発生した火災事案において、火災に気付いた2人が連携し、初期消火と119番通報を実施し、被害の拡大抑制に大きく貢献したものです。

2事案目は、令和5年8月22日（火）、深夜に発生した救助事案において、高齢女性が側溝内で自力脱出ができなくなっているところを発見し、2人が協力して安全な場所に救出の上、現場に到着した救急隊に引き継いだものです。

功労者の迅速・的確な行動により、被害の拡大抑制と尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影 ※1事案目】



【感謝状贈呈の様子 ※2事案目】

◆ 救急活動協力者に感謝状を贈呈

生駒市消防本部（奈良）

生駒市消防本部では、令和5年10月20日（金）、救急活動協力者の5人に対して、消防長から感謝状を贈呈しました。

本事案は、令和5年8月4日（金）、管内の駅ホームにおいて、心肺停止状態となった男性に対して、通勤途上の2人が協力して119番通報と胸骨圧迫を行い、近隣病院で勤務中の看護師3人がAEDを活用した除細動を実施したものです。

男性は、救急隊が現場に到着した時には、心拍と呼吸が再開しており、病院で治療後、社会復帰しました。

協力者の迅速・適切な「救命のリレー」により、尊い命が救われました。



【感謝状贈呈後の記念撮影】

◆ 「うるま市ゆいまーる救急ステーション制度認定式」を実施

うるま市消防本部（沖縄）

うるま市消防本部では、令和5年10月20日（金）、「うるま市ゆいまーる救急ステーション制度認定式」を実施しました。

これは、事業所の近くで救急事案などが発生した場合に、応急手当やAEDを活用した適切な救命処置を実施し、救命率を向上させることを目的として、13事業所を救急ステーションとして認定したものです。

また、当市では、年々増加している救急出動や地震などの自然災害に対応するため、自助・共助において適正な応急手当が実施できるよう、日頃から予防救急の広報に取り組んでいます。

今後も認定事業所と連携し、安全・安心な街づくりを目指してまいります。



【認定式後の記念撮影】



【表示証】

◆ はしご車搭乗体験を実施

筑後市消防本部（福岡）

筑後市消防本部では、令和5年10月15日（日）、県営筑後広域公園で開催された「ちっご祭り」において、はしご車搭乗体験を実施しました。

当日は、約200人がはしご車に搭乗し、約15メートルの高さを体験しました。

搭乗体験をした市民から感激の声をいただき、このような取り組みが「消防業務の根底」であると再認識することができました。

今後も、市民サービスの向上を目指して広報活動に取り組んでまいります。



【はしご車搭乗体験の様子】

◆ 実火災を想定した自衛消防訓練と「Hareza池袋防災イベント2023」を実施

東京消防庁（東京）

東京消防庁豊島消防署では、令和5年10月19日（木）、東池袋にあるハレザタワーにおいて、実火災を想定した自衛消防訓練を実施しました。

当日は、ハレザタワーで勤務する約1,000人の従業員が参加し、自衛消防隊が初期消火訓練、通報訓練を実施したほか、避難誘導訓練では、階段で地上まで避難しました。

また、中池袋公園において、「Hareza池袋防災イベント2023」が同時開催され、応急救護普及車、まちかど防災訓練車の展示と、煙体験ハウスを活用した大規模な防火・防災訓練を実施しました。

参加者から、「関東大震災から100年目にあたる節目の年に貴重な体験ができ、防災に関する認識が改めて高まりました。」との声をいただきました。



【自衛消防訓練の様子】



【イベントの様子】

◆ 横断幕の寄贈

鳥取県東部広域行政管理組合消防局（鳥取）

鳥取県東部広域行政管理組合消防局では、令和5年10月20日（金）、鳥取・湖山消防署管内消防連絡協議会（会長：相良正人鳥取市消防団長）から、横断幕（縦1.2m×横10m）の寄贈を受けました。

この横断幕は、当消防局の職員が、鳥取城跡、仁風閣、擬宝珠橋などの市内の名所と、消防活動の様子をデザインしたもので、消防人の強い意志として、「城下町鳥取の安心安全を守る」というメッセージを記載しました。

火災予防運動の期間中、当消防局鳥取消防署東町出張所に掲示し、地域住民の防火・防災意識の高揚を図ってまいります。



【横断幕の様子】

◆ 火災予防講座を実施

諏訪広域消防本部（長野）

諏訪広域消防本部では、令和5年10月25日（水）、長野県シニア大学諏訪学部の1年生を対象とした火災予防講座を実施しました。

この講座は、秋季全国火災予防運動に先駆け、火災の発生を未然に防止し、高齢者を中心とする死者の発生を減少させることを目的として実施したものです。

当日は、51人が参加し、当消防本部の職員が住宅防火対策について講義を実施しました。

今後も広報活動を継続し、地域住民の安全・安心のため、火災予防の推進に取り組んでまいります。



【火災予防講座の様子】

◆ 救急フェアを開催

橋本市消防本部（和歌山）

橋本市消防本部では、令和5年10月25日（水）、橋本市保健福祉センターにおいて、救急フェアを開催しました。

当日は、胸骨圧迫チャレンジ、子ども用防火服・救助服の試着体験、救急車・キッズ救急車の試乗体験などを実施したほか、救急車の適正利用と住宅用火災警報器の設置・維持・更新について広報活動を実施しました。

今後も救急フェアを継続し、参加者とともに楽しみながら救命率の向上を図ってまいります。



【救急フェアの様子】

◆ 救急事例検討会を実施

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部（茨城）

常総地方広域市町村圏事務組合消防本部では、令和5年10月26日（木）、当消防本部守谷消防署において、救急事例検討会を実施しました。

当日は、日本医科大学千葉北総病院からドクターヘリ搭乗医師とフライトナースを講師にお招きし、ドクターヘリ活動事案における検討会と意見交換会を実施しました。

検討会では、ドクターヘリの運用状況や医学的見地から救急活動における助言をいただいたほか、意見交換会では、活発なディスカッションが行われました。

今後も、早期医療介入による救命率の向上と後遺症軽減を目指して、ドクターヘリとの連携強化に努めてまいります。



【検討会の様子】

◆ 関係機関と合同でヤードの立入検査を実施

さいたま市消防局（埼玉）

さいたま市消防局では、令和5年10月27日（金）、埼玉県警察本部などと合同で、管内の自動車解体やコンテナ詰めなどを行う施設（通称「ヤード」）の立入検査を実施しました。

この検査は、法令などに基づく遵守事項の確認・指導を行うことを目的として実施したものです。当日は、外国人が経営するヤード5か所において立入検査を実施し、火災予防条例に基づく指導1件に加え、バッテリー類などの不適切な管理について1件火災予防上の指導を実施しました。

今後も、各関係機関と情報共有・連携強化を図り、火災予防の徹底に努めてまいります。



【警察署での出発式の様子】



【立入検査の様子】

◆ 市制施行65周年・広域化元年を記念して消防フェアを開催

上尾市消防本部（埼玉）

上尾市消防本部では、令和5年10月28日（土）、市制施行65周年・広域化元年を記念して消防フェアを開催しました。

オープニングセレモニーでは、救助訓練とはしご車による救出訓練の展示を行いました。

消防車両の展示エリアでは、防火衣を着用しての記念撮影や、はしご車との綱引き対決を実施したほか、各種訓練体験ブース、火災予防ブース、消防団PRブース、スタンプラリーなどを設け、来場者が楽しめるイベントになるよう工夫しました。

また、上尾市消防音楽隊によるミニコンサートも実施され、2,000人を超える来場者となりました。

来場者から、「訓練や消防車両を間近で見ることができて、とても楽しかったです。」「消防士を身近に感じられました。」などの声をいただき、消防行政への理解を深める良い機会となりました。



【消防フェアの様子】

◆ 軽可搬消防ポンプ取り扱い・消火訓練を実施

根室市消防本部（北海道）

根室市消防本部では、令和5年10月29日（日）、根室市厚床地区に配備された軽可搬消防ポンプを活用して、西厚床女性防火クラブ員と地域住民を対象とした、軽可搬消防ポンプ取り扱い・消火訓練を実施しました。

同女性防火クラブは、昭和57年に「地域からは火災を出さない」というスローガンのもと結成されたもので、定期的に各種講習や訓練などを実施しています。

当日は、同クラブ員9人、地域住民3人の計12人が参加し、消火訓練と防火・防災DVDを鑑賞しました。

今後も、火災予防における広報を継続し、市民が安心して暮らせる街を目指してまいります。



【訓練の様子】

◆ 廃棄前の防火衣を障がい者基幹相談支援センターへ寄付

飯塚地区消防本部（福岡）

飯塚地区消防本部では、令和5年8月30日（水）、廃棄前の防火衣を障がい者基幹相談支援センターへ寄付したところ、令和5年10月29日（日）、2か所の障がい者就労施設の入居者によりリメイクされた製品が先行販売されました。

この寄付は、アップサイクル（創造的再利用）の一環として、廃棄前の防火衣（上下）35着としころ鍔51着を同支援センターへ寄付することで、ゴミの削減、資源の有効利用、社会福祉への貢献、地域への還元につなげることを目的として、福岡県内で初めて実施したものです。

廃棄前の防火衣が、トートバッグ、ボディバッグ、鍋敷き、ガーデニングエプロン、靴袋、巾着などの製品にリメイクされました。

これらの製品は、飯塚市で開催された「にじいろマルシェ」で先行販売され、今後も、販売会やインターネット通販で販売予定です。



【防火衣がリメイクされた製品】

◆ 福島ファイヤーボンズと連携した住宅用火災警報器の設置促進動画を制作

郡山地方広域消防組合消防本部（福島）

郡山地方広域消防組合消防本部では、令和5年10月31日（火）、男子プロバスケットボールリーグの福島ファイヤーボンズキャプテンの田渡凌選手にご協力いただき、住宅用火災警報器の設置促進動画を制作しました。

この動画は、同選手の「常に備えを怠らない」というモットーが、万が一の時に備える住宅用火災警報器に通じることから、同選手が住宅用火災警報器の設置と点検の必要性を訴えるストーリーとなっており、公式Y o u T u b eチャンネルで配信を開始したほか、郡山市内の街頭ビジョンでも放映中です。

今後も地域と連携し、幅広い情報発信に努めてまいります。



【動画のサムネイル】



【Y o u T u b e の二次元コード】

◆ 第39回水俣芦北地区屋内消火栓操法大会を開催

水俣芦北広域行政事務組合消防本部（熊本）

水俣芦北広域行政事務組合消防本部では、令和5年10月31日（火）、当消防本部において、第39回水俣芦北地区屋内消火栓操法大会を開催しました。

この大会は、事業所における防災能力と防火意識の向上を図り、安全・確実・迅速な自衛消防活動を推進するとともに、各事業所間の親睦と交流を深めることを目的として、昭和60年から開催しているものです。

当日は、男女11チーム、計52人が出場し、新型コロナウイルス感染拡大防止のため4年ぶりの開催となりましたが、ブランクを感じさせない操法大会となりました。

今後も、管内事業所の防火・防災意識の高揚に努めてまいります。



【操法大会の様子】

消防庁通知等

◆ **消防法及び石油コンビナート等災害防止法の規定に基づく民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部を改正する省令の公布について（通知）**
（消防予第553号、令和5年11月1日）

消防庁予防課長から各都道府県消防防災主管部長、東京消防庁・各指定都市消防長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

消防法及び石油コンビナート等災害防止法の規定に基づく民間事業者等が行う書面の保存等における情報通信の技術の利用に関する規則の一部を改正する省令（令和5年総務省令第76号）が本日公布されました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/231101_yobo553.pdf) に掲載されています。

(連絡先)

消防庁予防課

担当：米田課長補佐、田村事務官

TEL：03-5253-7523

FAX：03-5253-7533

◆ **避難行動要支援者の避難確保に向けた個別避難計画の策定について**

（府政防第3147号、消防災第198号、令和5年11月2日）

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当）、消防庁国民保護・防災部防災課長から各都道府県消防防災主管部（局）長あてに通知が発出されましたので、お知らせします。

平素より消防防災行政の推進に御協力いただき、厚くお礼申し上げます。

個別避難計画の策定等に係る進捗状況を把握するため、「個別避難計画策定の進捗状況の把握について（フォローアップ）」（令和5年9月15日付け府政防第3034号、消防災第175号）において調査を依頼し、「個別避難計画の策定等に係る進捗状況の把握について（フォローアップの結果）」を取りまとめました。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/231102_bousai_1.pdf) に掲載されています。

<問合せ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当）付

藤田参事官補佐、平賀主査、毛利事務官

TEL：03-3501-5191 FAX：03-3502-6034 E-mail: y-hinan.k4n@cao.go.jp

消防庁国民保護・防災部防災課

福原課長補佐、遠矢係長、木本事務官、日比野事務官

TEL：03-5253-7525 FAX：03-5253-7535 E-mail: bousaityousei@ml.soumu.go.jp

◆ マイナポータルのサービス検索・電子申請機能（ぴったりサービス）に係る改修について
（情報提供）

（事務連絡、令和5年11月6日）

消防庁予防課から各都道府県消防防災主管課、東京消防庁・各指定都市消防本部あてに事務連絡が発出されましたので、お知らせします。

今般、デジタル庁から、別添のとおり、令和6年度末までに現行のマイナポータル「ぴったりサービス」（以下「ぴったりサービス」という。）から後継システムとして構築する予定の「汎用電子申請 API（仮称）」に移行を実施する予定である旨の連絡がありました。当該新システムは、年金や子育て関係の手続等マイナンバーカードを利用する個人向けの手続に特化した仕様となる予定です。（別添省略）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/231106_yobou_jimu1.pdf）に掲載されています。

（問い合わせ先）
総務省消防庁予防課
担当：米田、原口
TEL：03-5253-7523
MAIL：yobo@soumu.go.jp

報道発表

◆ 令和5年秋の褒章（消防関係）

（令和5年11月2日、消防庁）

令和5年秋の褒章（消防関係）受章者は99名で、褒章別内訳は次のとおりです。

紅綬褒章	3名
黄綬褒章	7名
藍綬褒章	89名
計	99名

（受章者名等は、別紙の受章者名簿に記載されています。）（別紙省略）

発令年月日 令和5年11月3日（金）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

（<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/0e09c46455f35f624d2917138cd8c8a9d4cf1b7b.pdf>）に掲載されています。

連絡先
消防庁総務課
横堀係長・田中事務官
電話 03-5253-7521（直通）
E-mail：fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp
※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 個別避難計画の策定等に係る進捗状況の把握について（フォローアップの結果）

（令和5年11月2日、内閣府、消防庁）

内閣府及び消防庁では、令和5年1月1日時点の個別避難計画の策定等に係る取組状況について、令和5年6月30日に「避難行動要支援者名簿及び個別避難計画の作成等に係る取組状況の調査結果」を取りまとめ、「避難行動要支援者の避難確保に向けた名簿情報の提供・活用及び個別避難計画の作成について」（令和5年6月30日付け府政防第2809号・消防災第118号）を通知したところです。

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/231102_bousai_2.pdf) に掲載されています。

＜連絡先＞

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（避難生活担当）付
藤田参事官補佐、平賀主査、毛利事務官
TEL: 03-3501-5191（直通）

消防庁国民保護・防災部防災課
福原課長補佐、遠矢係長、木本事務官、日比野事務官
TEL: 03-5253-7525（直通）

◆ 令和5年秋の叙勲（消防関係）

（令和5年11月3日、消防庁）

令和5年秋の叙勲（消防関係）受章者は598名で、勲章別内訳は次のとおりです。

瑞宝小綬章	33名
旭日双光章	6名
瑞宝双光章	51名
瑞宝単光章	508名

計	598名
---	------

（受章者名等は、別紙の受章者名簿に記載されています。）（別紙省略）

発令年月日 令和5年11月3日（金）

—以下省略—

○ 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/3b9de2315bd87ceb4ebe019ce8f96a3b50b5683d.pdf>) に掲載されています。

連絡先

消防庁総務課

横堀係長・田中事務官

電話 03-5253-7521（直通）

E-mail: fdma-soumukahyoushou_atmark_soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示
しております。送信の際には、「@」に変更してください。

◆ 町村長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」の開催

(令和5年11月6日、消防庁)

災害時には、短期間のうちに膨大な業務に対応・処理することが求められ、町村長はリーダーシップを十分発揮し、的確な災害危機対応を行う必要があります。

そのため、町村長の危機管理意識の一層の向上を図り、町村の災害対応力の向上等につながるよう、全国の町村長を対象とした「全国防災・危機管理トップセミナー」を開催します。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(<https://www.fdma.go.jp/pressrelease/houdou/items/cace46212f10489dc9ddcf8096ae168a2ce821cb.pdf>) に掲載されています。

<連絡先>

消防庁国民保護・防災部防災課

福原補佐・早勢係長・藤本事務官

Tel 03-5253-7525 (直通)

Mail bousaikikaku@soumu.go.jp (取材希望送付先)

◆ 令和5年秋季全国火災予防運動の実施

(令和5年11月7日、消防庁)

令和5年11月9日(木)から11月15日(水)まで令和5年秋季全国火災予防運動が全国各地で実施されます。

—以下省略—

- 全文は、消防庁ホームページ

(https://www.fdma.go.jp/laws/tutatsu/items/20231107_yobou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

消防庁予防課 濱田・泉

TEL : 03-5253-7523 (直通)

E-mail: yobo_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を「_atmark_」と表示しております。送信の際には、「@」に変更してください。

機関誌「ほのお」記事募集

一般財団法人全国消防協会では、機関誌「ほのお」に関して、各消防本部より次の投稿記事を募集しています。

①トップ・セカンド記事

②知識・技術の伝承—教えて！消防技術—

③女性職員の活躍推進

※①・②・③の執筆要領等の詳細は、週間情報（No.0516）1ページ、機関誌「ほのお」2023年4号（4/25発刊）29ページを参照願います。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」担当：企画課 石原

原稿データは、kikachosei@fcj.gr.jpに送信願います。

④消防ワイド

【特徴】

- ・写真中心のビジュアルな広報
- ・紙媒体により記録性に優れる広報

【留意事項】

- ・文章は、Wordで100文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、Wordに貼り付けず、JPEG画像データを1枚送付してください。
- ・消防ワイド、週間情報の両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。

TEL：03-3234-1321 機関誌「ほのお」（消防ワイド）担当：企画課 石原

原稿データは、honoo@ffaj-shobo.or.jpに送信願います。

ご投稿をお待ちしております。

※添付ファイルの容量が5MBを超える場合は、分割して送信願います。

週間情報への投稿は企画課へ！

週間情報では、各消防本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せください。

【特徴】

- ・原則毎週刊行される、速報性のある広報
- ・文章中心の情報量が多い広報

【留意事項】

- ・配信日（原則火曜日）から前2週間以内のイベント、訓練等を中心に掲載しています。
- ・文章は、Wordで200～400文字程度で作成をお願いします。
- ・写真は、1～2枚をWordに貼り付けて送付してください。
（貼り付けできない場合は、JPEG画像データを送付してください。）
- ・週間情報、消防ワイドの両方に投稿された場合、どちらか一方のみの掲載となります。
- ・掲載が決定した場合のみ、担当者よりメールを返信させていただきます。

TEL：03-3234-1321「週間情報」担当：企画課 岡崎

原稿データは、weekly@fcj.gr.jpに送信願います。